

教 科 用 図 書 採 択 参 考 資 料 綴 り

教 科 名 技 術 ・ 家 庭

# 調査研究報告書

(小委員会名： 技術・家庭 )

1. 調査研究の経過及び内容	<p><b>6月19日(金)15:30~16:30 第1回教科別委員会</b> ○正副小委員長の決定・連絡先確認・今後の日程確認・次回までの課題確認</p> <p><b>7月 9日(木)15:30~18:00 第2回教科別小委員会</b> ○各委員が自宅にて検討した「調査研究内容」を持ち寄り、討議検討を行う。</p> <p><b>7月14日(水)討議結果のまとめを各委員に、メールにて送付。</b> ○各委員から特に意見は出なかった。まとめを最終的な意見として合意とする。</p> <p><b>以下 まとめ</b></p> <p><b>【東京書籍】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ガイダンスの部分(技術分野)が秀逸。技術の「最適化」という言葉を最初に取り上げて、後段全体(家庭科にも)に響くような構成になっている。</li><li>・指導する事項の情報量が豊富。教師の力量により、子どもたちの興味関心を高め、学びを深く進める要素が詰め込まれている。</li><li>・課題例は示しているが、絞り込んではいない。教師の力量で指導内容を精選しやすくできているとともに、応用的な課題にチャレンジできる自由度がある。</li><li>・A B版の先駆者であり、見開きの紙面を上手く使って、情報がわかりやすく伝わる工夫がなされている。</li><li>・親としてみて、とても面白そうだと感じた。写真がいっぱいで文字も見やすい。</li><li>・子どもたちが興味を持って、プランを立てて、実行して、それを分析していくというループができているのがよい。(家庭分野)</li><li>・QRコードで見られる(Dマークコンテンツ)が豊富であり、今後一人一台の情報端末機器を生かすことができるよう考えられている。</li></ul> <p><b>【教育図書】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・文字の大きさ、見やすさがよい。(太文字を大きく、色も変えて表現している)</li><li>・内容を大胆といえるほど絞り、図や表を大きく入れることで、見やすさとわかりやすさを第一に追求している。経験年数によらず、どの先生が(免外の先生においても)使っても、教えやすくできている。</li></ul> <p>※この教科書のこの順番で教えていけば間違いないような構成になっている。 ※課題例を絞り込んで、教科書を中心に教えやすい(扱いやすい)。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・3年間を通じて「○○して学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深め生かそう」という構成になっており、生徒にとって内容的にも構成的にもわかりやすく、使いやすくできている。</li><li>・大きさの割に軽く、持ちやすい感じがある。開きやすい工夫もされている。</li></ul> <p><b>【開隆堂】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・デザイン、内容が一番オーソドックス、シンプルにできている。</li><li>・図や表、グラフがわかりやすく配置されている。</li><li>・各領域の導入部分が、その学習場面において、生徒の興味関心を高めるような構成および内容となっている。(技術)</li><li>・各領域の最後に「持続可能な○○生活」という内容で締めくくられており、持続可能な社会を意識する構成となっている。(家庭)</li></ul>
----------------	---

	<p><b>【各教科書の特徴(よさ)をまとめると】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の扱い方一つで子どもの興味関心を全方位から高め、主体的に学びを深めていけるように、豊富な情報量とデジタルコンテンツで構成されている東京書籍。</li> <li>・情報量を大胆に絞り、学習の進め方を単線系にすることで、経験年数や指導実績にかかわらず（免外の先生においても）、学習内容のわかりやすさや指導のしやすさを追求した教育図書。</li> <li>・シンプルな内容構成、わかりやすい図表や写真を多用し、教師、生徒にとっての使いやすさわかりやすさを追求した開隆堂。</li> </ul>
<p>2. 調査研究の 具体的資料</p>	<p>1 教科書編修趣意書 2 採択参考資料 3 学習指導要領解説 4 その他 ( )</p>
<p>3. 少数意見等</p>	

# 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1・2・3学年 技術分野	技術・701	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
取 扱 内 容	<p>○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A材料と加工の技術」において、身近な製品に関する技術の工夫について考えることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生活上の不便さなどの問題を解決する製作品に関する実習を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「B生物育成の技術」において、夏野菜を冬に栽培することができる技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生物育成の技術のプラス面やマイナス面について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「Cエネルギー変換の技術」において、様々な発電方法に関する技術の工夫について考えることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、エネルギー変換の技術の最適化や燃料電池などの新しい技術の開発について多角的な視点から考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「D情報の技術」において、普段利用している情報について考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、情報機器の利用の便利な点と注意すべき点について話し合うことを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動</li> </ul>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				
排内 列 容 の 分 構 量 成 等	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生産者の立場からよりよい栽培方法を考えたり、栽培の成果・課題を基に改善を図ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「技術分野の学習を見てみよう」において、3年間の学習の見通しを立てるガイダンス的な学習の後に、技術の原理や仕組みを考え、身の回りに活用されている技術を評価する活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○P2～p17 にかけてのガイダンスは、学び方から技術の最適化のスタンス、問題解決へのプロセスなどわかりやすく構成されている。特に、技術の「最適化」のスタンスについては、トレードオフの考え方がわかりやすくまとめられていて、学習全体の基本的な概念になるよう構成されている。</p> <p>○取り扱い内容について、各章とも技術の「最適化」に必要な知識と技能が丁寧にわかりやすく排列されている。図や写真、解説や資料なども豊富。情報量が多いようにも思えるが、経験年数や専門性に応じて活用しやすい内容に構成されている。</p> <p>○巻末に SDGs の取り扱いがあり、技術の最適化、問題解決と絡め、総則にも記載されている「持続可能な社会の担い手」を育む学習にも生かせると感じた。</p>			

<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全性や経済性など多角的な視点で技術を捉えることができる「最適化の窓」を示したり、学習を広げ、深めることができる資料を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○各節の冒頭に考えたり、話し合ったりする「始めの活動」や、学習した内容をまとめ、生活に生かすことができる「まとめの活動」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○思考ツールの活用方法を示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul> <p>○技術の教科書も、見やすさを重視することにより AB 判となり幅が広く、決して軽いものではなくなっている。今回、東京書籍では1ページあたりの重量を抑えることで前回のものより軽量化が図られたことはとてもよい。フォントや色分けにまで工夫を凝らしていることも良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○AB版をいち早く採用した先駆者であり、見開きの情報量と見やすさの工夫がとてもよい。</li> <li>○教科書をガイドするキャラクターや登場人物が統一されており、3年間を通じて見やすい工夫がなされている。</li> <li>○製作に必要な技能は「TECHLab」（家庭科は「いつも確かめよう」）としてわかりやすくまとめられている。</li> <li>○教科書に使われているマークが豊富で、学習の場面で意識付けしやすい。</li> <li>○Dマークコンテンツが豊富。一人一台導入される情報端末機器の活用場面が広がるのがよい。</li> </ul>
<p>そ の 他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul> <p>○指導者用デジタルブックやデータ集（DVD）等については授業を行う上で参考にしやすくとても良いと感じる。「指導計画例」や「検討の観点と内容の特色」について別冊になっているところも良さを感じる。パラパラ漫画は今回も健在。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻末のプログラミング手帳は、切り離して使える工夫がよい。</li> </ul>

# 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	6・教図	第1・2・3学年 技術分野	技術・702 技術・703	New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する
取 扱 内 容	<p>○技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A材料と加工の技術」において、普段使っている製品の技術の工夫を考えることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、材料の特性を踏まえ、目的に合わせた加工法を用いた製作品に関する実習を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「B生物育成の技術」において、作物、家畜、水産生物などに共通する育てる技術を考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生物育成の技術の果たす役割や影響などについてまとめることを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「Cエネルギー変換の技術」において、生活や社会の中で利用されているエネルギー変換に関する技術を考えることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、エネルギー変換の技術の果たす役割や新たな技術の開発などについてまとめることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「D情報の技術」において、情報の技術がどのように使われているのか考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、情報の技術の果たす役割についてまとめることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動</li> </ul>			
排 内 列 容 の 分 構 量 成 等	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の計画を立てよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、写真などを活用して育成記録をまとめたり、育成結果や工夫した点を発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・排列については、「学習内容への道案内」において、3年間の学習の見通しを立てるガイダンス的な学習の後に、4つの内容に関する基礎的・基本的な知識を活用した実習などを行い、実習を通して技術の評価・活用について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○実習教材を実際の現場の声を生かしたものを採用することにより、シンプルなものから様々な工夫があるものまで、多種多様でありわかりやすくまとめられている。</p> <p>○各章ともシンプルに「○○して学ぼう」→「じっくり学ぼう」→「学びを深め生かそう」（家庭科は「やってみよう」→「学びを生かそう」）の流れで統一されていて、3年間を通して学びを構成しやすい作りになっている。</p> <p>○情報量を大胆に絞り、あえて単線系の学習内容で構成することにより、学ぶ側にとっても、教える側にも（経験年数や免外の先生にとらわれず）平易に作られ、教えやすく、学びやすい教科書となっている。</p>			

学習指導要領の総則  
及び各教科、各学年  
の目標、内容等

<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設計や計画を構想することができるワークシートを示したり、実習中に確認できる技能に関する資料を別冊にしたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○学習の流れを明確にする「見つける」「学ぶ」「振り返る」の3つのステップや、単元の習得度合いを自ら確認し、振り返ることができる「めあて」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○教科書や別冊の使い方について説明するページを示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、重要語句を青太文字にしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> <li>○技術の教科書は、見やすさを重視することにより AB 判となり幅が広く、決して軽いものではなくなっている。今回、教育図書の教科書を手にとった時に、紙（ページ）が空気を含むような構成になっているためか、ページが進んでも中央付近が見づらくなるようなことはなくとても使いやすくできている。</li> <li>○教科書の内容を絞り込むことであふれたであろう内容はハンドブックとして付属している。ポイントがしっかりまとめられている。</li> <li>○フォントが大きく、重要語句も青文字にするなど見やすくできている。</li> <li>○教科書をガイドするキャラクターや登場人物が統一されており、3年間を通じて見やすい工夫がなされている。</li> <li>○内閣府が推し進める <b>society5.0</b> の記載がある。</li> <li>○教科書に使われているマークが豊富で、学習の場面で意識付けしやすい。</li> <li>○QRコードを用いたコンテンツが豊富。一人一台導入される情報端末機器の活用場面が広がるのがよい。</li> </ul>
<p>そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</li> <li>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

# 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	9・開隆堂	第1・2・3学年 技術分野	技術・704	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
取 扱 内 容	<p>○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品の工夫を調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、利便性や機能性を追求した製作品に関する実習を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「B生物育成の技術」において、夏野菜を一年中栽培することができる技術を調べることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生物育成の技術の発展について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「Cエネルギー変換の技術」において、私たちの生活とエネルギーとの関わりについて考えることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、工場から排出される熱エネルギーなどの未利用エネルギーを有効に活用する技術について話し合うことを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動</li> <li>・「D情報の技術」において、生活の中で情報に関する技術がどのように利用されているか考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、今後の生活に求められる情報の技術について話し合うことを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動</li> </ul>			
排 内 列 容 の 分 構 量 成 等	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生活をよりよくする方法を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確にして説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・排列については、「生活や社会における技術の役割」において、3年間の学習の見通しを立てるガイダンス的な学習の後に、4つの内容に関する基礎的・基本的な知識を活用した実習を行い、技術の適切な評価・活用について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○実習教材をほどよく採用し、実習に臨めるようになっている。また、取り扱っている内容が技術に興味がわくようなものが多く、生徒が教科書を開くのが楽しみになるような内容となっている。</p> <p>○フォントや色分けにまで工夫を凝らし、教科書全体がとても見やすく構成されている。</p> <p>○各領域の最初のページには、それぞれ印象に残るような写真が掲載され、これから生徒が学習することがわくわくするような、技術のすごさを感じられるようなものとなっている。</p> <p>○各章の学習内容や学習の進め方に応じた適切な学習構成になっている。</p> <p>○トレードオフと技術の考え方の記載があるのがよい。</p>			

学習指導要領の総則  
及び各教科、各学年  
の目標、内容等



<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の興味・関心を高めることができる写真やイラスト、図表、コラム等を各ページに示したり、実践的・体験的な学習活動や実習例を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○各小項目の冒頭に授業の動機付けとなる「導入課題」や、学習を振り返り、学びを深めることができる「学習のまとめ」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインの書体にしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> <li>○QRコンテンツの採用なども授業を行う上でとても良いと感じる。「指導計画例」や「双方向性のあるコンテンツ」について別冊になっているところも良い。</li> <li>○教科書に使われているマークが豊富で、学習の場面で意識付けしやすい。</li> </ul>
<p>そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</li> <li>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

# 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・701	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
取 扱 内 容	<p>○家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、相手の立場や役割を自分に置き換えて考える活動や、高齢者との関わり方を体験する活動</li> <li>・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、バランスのよい献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「エプロン」や「ペットボトルカバー」などを製作する活動</li> <li>・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードの三者間契約について理解を深める活動や、消費行動が環境に与える影響を考える活動</li> </ul>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				
排 内 列 容 の 分 構 量 成 等	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「責任ある消費者になるために」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分や家族の消費行動が社会に与える影響を話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「私たちの生活と家族・家庭の機能」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「地域での協働を目指して」で中学生として地域の人々との関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</li> <li>・「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、幼児のためのおやつを考えたり、「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、家電製品の購入計画について話し合ったりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫</li> </ul> <p>○P2～P17 にかけてのガイダンスでは、特に自分の生活をチェックして自らの課題を明らかにしつつ3年後の目標を定め、学習を進めるごとに自分の変化に気づけるように構成されていて秀逸である。</p> <p>○取り扱い内容について、図や写真、解説や資料なども豊富。情報量が多いようにも思えるが、経験年数や専門性に応じて活用しやすい内容に構成されている。</p> <p>○各章に「持続可能な〇〇を目指して」の学習内容が配置され、巻末のSDGsの取り扱いと併せて総則にも記載されている「持続可能な社会の担い手」を育む学習を3年間をかけて継続的に取り組めると感じた。</p>			

<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「プロに聞く」「せいかつメモ」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○学習のまとめりごとに振り返る「まとめよう」や、学んだことを実生活につなげる「生活に生かそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○幼児の使う小物や食品の概量などの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> <li>○A B版をいち早く採用した先駆者であり、見開きの情報量と見やすさの工夫がとてもよい。</li> <li>○6群の食品量が目ばかりでわかるように写真で大きく記載されているのはわかりやすくよい。</li> <li>○教科書をガイドするキャラクターや登場人物が統一されており、3年間を通じて見やすい工夫がなされていると感じた。</li> <li>○製作に必要な技能は「いつも確かめよう」としてわかりやすくまとめられている。</li> <li>○教科書に使われているマークが豊富で、学習の場面で意識付けしやすい。</li> <li>○Dマークコンテンツが豊富。一人一台導入される情報端末機器の活用場面が広がるのがよい。</li> </ul>
<p>そ の 他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

# 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	6・教図	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・702	New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する
取 扱 内 容	<p>○ 家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、家族の役を演じ、家族とのかかわり方について考える活動や、高齢者の疑似体験をする活動</li> <li>・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、中学生の1日分の献立を考える活動や、自然災害に備えた安全な住まいの整え方を考える活動</li> <li>・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードによる買い物の仕組みについて理解を深める活動や、消費生活が環境に及ぼす影響を考える活動</li> </ul>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				
排 列 の 分 構 量 成 等	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「私たちの消費生活」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、普段の生活において特に重要だと思ふ目標を考え、グループで話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「家族・家庭の基本的な働き」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「地域の人々との協働のために」で地域の人々と協働する方法について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</li> <li>・「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、幼児のおやつを工夫したり、「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、新生活に必要な家電製品等についてレポートにまとめたりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫</li> </ul> <p>○各章ともシンプルに「やってみよう」→「学びを生かそう」（技術科は「〇〇して学ぼう」→「じっくり学ぼう」→「学びを深め生かそう」）の流れで統一されていて、3年間を通して学びを構成しやすい作りになっている。</p> <p>○情報量を大胆に絞り、あえて単線系の学習内容で構成することにより、学ぶ側にとっても、教える側にも（経験年数や免外の先生にとらわれず）平易に作られ、教えやすく、学びやすい教科書となっている。</p>			

<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「センパイに聞こう」「メッセージ」などを掲載したり、中学生キャラクターや教師キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○学習のまとめりごとに自己評価する「振り返る」や、学んだことを実生活につなげる「学びを生かそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○新生児の手形や身近な食品などの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> <li>○家庭の教科書は、見やすさを重視することにより AB 判となり幅が広く、決して軽いものではなくなっている。今回、教育図書の教科書を手にとった時に、紙（ページが）が空気を含むような構成になっているためか、ページが進んでも中央付近が見づらくなるようなことはなくとても使いやすくできている。</li> <li>○フォントが大きく、重要語句も青文字にするなど見やすくできている。</li> <li>○教科書をガイドするキャラクターや登場人物が統一されており、3年間を通じて見やすい工夫がなされている。</li> <li>○教科書に使われているマークが豊富で、学習の場面で意識付けしやすい。</li> <li>○QRコードを用いたコンテンツが豊富。一人一台導入される情報端末機器の活用場面が広がるのがよい。</li> </ul>
<p>そ の 他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

# 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	9・開隆堂	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・703	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
取 扱 内 容	<p>○家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、ロールプレイングを通して、家族の気持ちや立場を考える活動や、高齢者の歩行介助を体験する活動</li> <li>・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、栄養のバランスのとれた1日分の献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「リバーシブルバッグ」や「クッションカバー」などを製作する活動</li> <li>・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードの三者間契約のメリットやデメリットについて理解を深める活動や、消費者の行動が社会や環境に与える影響を考える活動</li> </ul>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				
排 内 列 容	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「持続可能な社会」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分たちがどのような取組ができるか話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「わたしの生活と家族・家庭」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「家庭生活と地域での活動」で家庭生活と地域との相互の関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</li> <li>・「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、祖父母が喜ぶ食事を考えたり、「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、新しい電化製品を購入するために、それぞれの特徴を比較しまとめたりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫</li> </ul>			
の 分 構				
量 成	<p>○各章の学習内容や学習の進め方に応じた適切な構成になっている。</p> <p>○SDGsの記載が多くあり、各章に配置されている「持続可能な○○○」の学習と併せて総則にも記載されている「持続可能な社会の担い手」を育む学習を3年間をかけて継続的に取り組める。</p>			
等				

<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「先輩からのエール」「豆知識」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○学習のまとめりごとに基礎・基本の定着を図る「ふり返し」や、学んだことを実生活につなげる「生活にいかそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○子どもの手形・足形や食品などの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> <li>○教科書が見やすさを重視することにより AB 判となったが、1ページあたりの重量を抑えることで軽量化が図られたことはとても良かったと感じた。</li> <li>○6群の食品量が目ばかりでわかるように大きな写真で記載されているのはわかりやすくよい。</li> <li>○教科書に使われているマークが豊富で、学習の場面で意識付けしやすい。</li> <li>○QRコードを用いたコンテンツが豊富。一人一台導入される情報端末機器の活用場面が広がるのがよい。</li> </ul>
<p>そ の 他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>